

令和2年

泉州南消防組合議会第2回定例会会議録

令和2年8月28日 開会

令和2年8月28日 閉会

泉 州 南 消 防 組 合 議 会

令和2年 泉州南消防組合議会第2回定例会会議録

目 次

○第1日（令和2年8月28日）（金）	
○議事日程	1
○出欠議員	1
○説明員職員氏名	1
○職務のために出席した職員氏名	1
○本会議の会議事件	1
○会議録署名議員	1
○開会・開議	2
○会議録署名議員の指名	2
○会期の決定	2
○監査報告第2～7号上程	2
○認定第1号上程	2
令和元年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について	2
大西消防長・提案説明	3
質疑	4
討論	10
採決	10
○閉会	10

泉州南消防組合議会第2回定例会第1日

(8月28日)

令和2年 泉州南消防組合議会第2回定例会（第1日）

令和2年8月28日（金）

○第1日の議事日程

日程第1		会議録署名議員の指名について
日程第2		会期の決定について
日程第3	監査報告 第2～7号	監査結果報告について
日程第4	認定 第1号	令和元年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

○議員定数15名

出席議員14名

二見 裕子	河合 弘樹	小川 雄司	金田 裕治
奥野 学	長辻 幸治	福岡 光秋	高道 一郎
南 良徳	金子 健太郎	堀口 和弘	二神 勝
中谷 清豪	山本 守		

欠席議員 1名

小川 日出夫

○説明員職員

管理者	千代松 大耕	副管理者	竹中 勇人	副管理者	水野 謙二
副管理者	藤原 敏司	副管理者	栗山 美政	副管理者	田代 堯
会計管理者	岸上 和孝	消防長	大西 保	消防次長	寒川 徹
理事	峯 和弘	総務部長	田中 豊稔	警防部長	松浦 治人
理事兼泉野署長	中川 康	総務課長	南川 智春	管理課長	森本 弘昭
予防課長	山本 裕一	警備課長	山出谷 浩志	指揮司令課長	阪木 直也
泉南署長	岸野 義範	阪南署長	山田 敏一	熊取署長	芝野 太一
岬署長	泥谷 孝				

○職務のために出席した職員

書記長	北谷 守	書記	尾上 昌明	担当職員	中川 誠志
-----	------	----	-------	------	-------

○本会議の会議事件

- ◇監査結果報告について
- ◇令和元年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

○地方自治法第123条第2項の規定による会議録署名議員

小川 雄司	二神 勝
-------	------

会 議 の て ん ま つ

開会（午前10時00分）

書記長（北谷 守君）皆様、おはようございます。

議会開催に先立ちまして、ご報告申し上げます。

ご発言時の注意事項としまして、お手数ですが、ご起立の上、お手元のマイクのスイッチを入れていただき、ご発言が終わりましたら、再度スイッチを押して切断していただき、ご着席いただきますようお願いいたします。

議長（南 良徳君）皆様、おはようございます。

ただいまより令和2年泉州南消防組合議会第2回定例会を開会いたします。

議員定数15名中、出席議員14名でありますので、会議が成立いたします。

なお、小川 日出夫議員からは欠席の届出がありましたので報告いたします。

議長（南 良徳君）それでは、本日の会議を開きます。

これより議事に入ります。

本日の議事日程は、お手元の一覧表のとおりであります。

議長（南 良徳君）まず、日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。

泉州南消防組合議会会議規則第68条の規定により、本会の会議録署名議員として、小川 雄司副議長、二神 勝議員の両名を指名いたします。

よろしく願いいたします。

議長（南 良徳君）次に、日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

本定例会の会期は本日1日といたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（南 良徳君）ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日1日と決定いたしました。

議長（南 良徳君）次に、日程第3、監査報告第2号から第7号までの監査結果報告についてを議題といたします。

ただいま議題となっております議案につきましては、お手元に配付いたしておりますとおり、監査委員から議長宛てに報告がありましたので報告いたします。

この報告につきまして、質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（南 良徳君）ないようでございますので、以上で監査結果報告を終わります。

議長（南 良徳君）次に、日程第4、認定第1号 令和元年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

議案の説明を求めます。

大西消防長。

消防長（大西 保君）それでは、議案書1ページ、認定第1号 令和元年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、別冊の令和元年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算書5ページをお開き願います。

令和元年度泉州南消防組合一般会計は、歳入合計39億6,843万5,062円、歳出合計39億6,843万5,062円、歳入歳出差引額はゼロ円でございます。

続きまして、6ページからの歳入歳出決算事項別明細書に基づき詳細をご説明させていただきます。

7ページ、8ページをお開き願います。

歳入といたしまして、款 分担金及び負担金、項 負担金、目 消防費負担金としまして、収入済額37億3,091万3,721円でございます。3市3町の内訳につきましては、備考欄に記載のとおりでございます。

次に、款 使用料及び手数料、項 使用料、目 消防使用料としまして、収入済額264万7,364円は、行政財産目的外使用料でございます。

次に、同じく、項 手数料、目 消防手数料としまして、収入済額806万3,270円は、許可・検査・証明各手数料でございます。

次に、款 府支出金、項 府補助金、目 消防費府補助金としまして、収入済額7,865万7,599円は、原子力防災活動資機材維持管理費補助金及びG20大阪サミット消防・救急体制整備費補助金でございます。

次に、9ページ、10ページをお開き願います。

款 諸収入、項 雑入、目 雑入としまして、収入済額2,035万3,108円で、内訳は備考に記載のとおりでございます。

次に、款 組合債、項 組合債、目 組合債としまして、収入済額1億2,780万円は、消防施設整備事業債でございます。

以上で歳入に関する説明を終わらせていただき、歳出に移らせていただきます。

11ページ、12ページをお開き願います。

款 議会費、項 議会費、目 議会費としまして、支出済額167万1,686円で、主な事業としまして、右の備考欄、議員人件費事業、議会運営事業などの支出でございます。

次に、款 消防費、項 消防費、目 常備消防費としまして、支出済額35億1,937万7,279円でございます。

主な事業としまして、13ページ、14ページ中ほど、右の備考欄、人件費事業で31億8,077万6,802円の支出でございます。

なお、14ページから28ページにかけては、各課・各署の消防活動等、常備消防費各事業の支出でございます。

続きまして、29ページ、30ページをお開き願います。

目 消防施設費としまして、支出済額1億5,789万8,640円でございます。

主な事業といたしまして、30ページ中ほど、右の備考欄、消防車両購入事業（泉佐野署・熊取署・阪南署・岬署）及び32ページ、消防庁舎改修事業（泉佐野署・泉南署・阪南署・岬署）などの支出となっております。

次に、同じく、目 災害対策費で117万8,453円は、原子力防災資機材等管理事業の支出でございます。

次に、款 公債費 項 公債費、目 元金としまして支出済額 2億7,859万1,171円でございます。

次に、33ページ、34ページをお開き願います。

同じく、目 利子としまして、支出済額971万7,833円でございます。

次に、款 予備費、項 予備費、目 予備費は未執行でございます。

以上で歳出に関する説明を終わらせていただきます。

続きまして、36ページから40ページにかけて財産に関する調書を添付しております。

また、42ページからの泉州南消防組合一般会計事業別予算執行状況には、事業ごとに執行率90%未満かつ100万円を超える不用額が生じたものにつきまして網掛けでお示ししております。

内容につきましては、記載のとおりでございます。

なお、監査委員様より、一般会計、決算審査意見書が別に提出されておりますので、併せてご参照いただき、よろしくご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げます。

議長（南 良 徳君）これより質疑に入ります。

質疑ございませんか。

小川副議長。

副議長（小 川 雄 司君）おはようございます。

まず1点目伺いたいのは、この年度はG20大阪サミットが開催されたということでありまして、この意見書の中でも特別警戒が実施されたということで、関西国際空港を有するという本消防組合の重要性も高まっているのは私たちも自覚するところでもありますけれども、そうしたときに、救急体制整備費補助金が7,747万円出ておりますけれども、その内訳がどういったものかということと、そして、そういうような大きな会議等が行われる場合、本消防組合の消防特別警戒事業を行うに当たって持ち出しのお金というのか、それは幾らほどあるのか、この2点をまず伺いたいと思います。いかがでしょうか。

議長（南 良 徳君）山出谷警備課長。

警備課長（山出谷 浩志君）それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

G20大阪サミット等の事業に関しましての持ち出し金につきましては、これ前提に泉州南消防組合では関西国際空港を管轄する関係上、泉州南としましては受援、すなわち応援を求める側となっております。ということで、応援を求める側ですので、今回のG20に限りましては、人件費は泉州南消防組合の一般財源の持ち出しとなっております。ただ、その他に係る物件費の経費につきましては、全額府の補助金となっております。

以上でございます。

議長（南 良 徳君）山出谷警備課長。

警備課長（山出谷 浩志君）引き続きお答えいたします。

救急の整備費につきましては、これ内訳につきましては、すなわち泉州南は消防を受援側ですので、応援に係る経費につきまして物件費等消耗品、備品購入費等の内訳が、また借上料等の金額がこの補助金となっております。

議長（南 良 徳君）小川副議長。

副議長（小 川 雄 司君）今お聞きしましたのは、人件費は持ち出しとお聞きしました。その

人件費の持ち出しは、この決算書ではどんなふうに反映されておりますか。続けて5回だそうなので、おまけなしということ、それとも一つ併せて聞いておきます。

それと、消防広域応援交付金がこの年度はゼロになったと記載されております。その際に伺いたいんですけども、どういう災害の場合応援に出向くのか、どういうことの場合応援をいただけるのか、G20は特別やったと思いますけれども、そのことを併せてお伺いしたいと思います。

議長（南 良 徳君）山出谷警備課長。

警備課長（山出谷 浩志君）それでは、お答えいたします。

まず、1点目の人件費につきましてお答えさせていただきます。

人件費につきましては、泉州南消防組合全体としての人件費ですので、決算上からは幾らというのは見ることはできません。ただ、実際にG20として使用した人件費につきましては、個人によりまして単価が違いますので、正確な数字ではございませんが、時間といたしまして、このG20サミットに関しまして602時間の時間外手当を支給しております。個人により先ほど申しましたように単価が違いますので、平均時間単価2,754円で試算しますと165万7,000円となっております。

続きまして2点目、応援に係る要請ですけれども、これは緊急援助隊という制度が日本で行われておりまして、その緊急援助隊につきましては、都道府県知事からの要請で消防庁長官が指示または要請したときに、その地域によりまして出動する府県というのが決まっておりますので、その事案の規模によりまして出動することになっております。

以上でございます。

議長（南 良 徳君）小川副議長。

副議長（小 川 雄 司君）分かりました。

知事からの要請がこの決算年度においてはなかったということであるということだと思っておりますけれども、災害種別によっても、今、豪雨による大雨ですね。今はそれが多し、それから地震はありませんでしたけれども、災害種別によってもその当該する知事さんが決めるということで、それには法律上従って応援に行くということになるわけですか。こちらが受援の場合になった場合も大阪府知事が決めてということになって、その災害種別についてはいかがですか。

議長（南 良 徳君）山出谷警備課長。

警備課長（山出谷 浩志君）お答えいたします。

種別にありましては、近年につきましては、皆さんご存じのとおり豪雨という形で出動する機会がございます。泉州南としましては、平成30年7月豪雨の際も要請があつて出動しております。また、そのほかにつきましては地震の災害もございまして、泉州南としましては熊本地震のほうにも災害派遣という形で出場しております。

以上でございます。

議長（南 良 徳君）小川副議長。

副議長（小 川 雄 司君）4回目ですけれども、1つは、人件費165万円ぐらい支出されたということについての、これは補助的なものはないわけですか。うちが主催者となったわけじゃないし、知事さんが決めはってこっち側呼んできたということなんだけれども、その辺はないのかと。今後そういったことを要望することにはならないのかと、これはもう管理者とかにお聞

きしたいと思いますけれども、何せいろいろな経費が増大していますから、人件費においてもその辺はやっぱり面倒をちょっと見てくれよということにはならんのかいなど、そんなふうに思うんですけれども。

これ4回目なんでもう一ついきたいと思いますけれども、コロナで、この間の全協終わってから下で、養生の救急車と、実際保健所のコロナの陽性の患者さんを運ぶ救急車を見せてもらいました。オゾン発生器も管理者の英断によってつけてあるということも見させてもらいました。ただ、ちょっと気になるのは、防護服、防具とか、そんなものをこの下に3つぐらい箱が置いてあって、使ったやつを置いていて、一回一回替えるわけですな。それで、消毒の箱やったかな、3つ、ちょっと正確には覚えていないけれども、要するにぎりぎり回しているんちゃうかと、ぎりぎり、防護服も。ぎりぎり回して、やっぱり隊員さんにそういう経費の節減でやんなあかんねやけれども、防護服の状態が僕の見たい目にはぎりぎり回しているんじゃないかなというふうに見受けられたんですけれどもね。一定の余裕を持っていただきたいと、隊員さんは労働者で、それはマスクとかまた別の種別になりますけれども、実際に防護服についてもちょっとやっぱり買い足していただいて、余裕を持っていただきたいと思うんですが、その点4回目ですけれども、どうですか。

議長（南 良 徳君） 山出谷警備課長。

警備課長（山出谷 浩志君） お答えいたします。

防護服につきましては、これ通常普通の救急事案ですと数回の使い回しというのが可能となっております。ただ、今般、このコロナ禍の中で、救急隊がコロナの疑いを認識した搬送の中では、その防護服については必ず使い捨てという形にしております。

また、陽性が出た場合につきましては保健所が回収ということになっておりますので、数については余裕があるわけではございませんが、在庫数等々鑑みまして、今後の購入予定を進めてまいりたいと思います。

以上でございます。

議長（南 良 徳君） 小川副議長。

副議長（小 川 雄 司君） 分かりました。

先ほど申し上げた、こんな大きな事業が行われるようなことが、この泉州南消防組合管内であった場合、特に人件費の持ち出しについても一定府内から補助があってもいいんじゃないかと思うんですが、管理者はどんなふうにお考えなのか。

もう一つは、聴覚障害者のインターネットの救急車呼び出し事業が去年からでしたか、今年からでしたか、今年4月ですかね。ちょっとはっきりしないので、その辺の実績をお答えいただきたいと思うんですけれども、まず管理者からよろしくお願いします。

議長（南 良 徳君） 千代松管理者。

管理者（千代松 大 耕君） G20の165万円の人件費の持ち出しにつきましてですけれども、これは昨年の水野管理者の時代の話でございますけれども、私も副管理者でございましたけれども、私自身もこの人件費の持ち出しには納得をしていなくておかしいんじゃないかということで、水野管理者を通じて要請もしていただいたんですけれども、やっぱりこういう大きな事業でその持ち出しが嫌だからといって、閑空に要人が降り立つ中で泉州南が出さないというのものがなものであるというような結論にもなりましたので、水野管理者のほうからは、かなり大阪府のほうには要請していただいたんですけれども、結果としてこうなったということでござい

ますけれども、また今後何らかこういう形の大きな事業があったときのこういう部分については、きっちりと泉州南としての要望というのはしていきたいというふうに考えております。

議長（南 良 徳君） 阪木指揮司令課長。

指揮司令課長（阪 木 直 也君） N e t 119の議員さんの質問にお答えしたいと思います。

当組合におきましては、今年の7月にアルカディアという業者と契約を結びましてN e t 119を運用開始しております。

現在、3市3町合わせまして27名の方がN e t 119に登録しております、昨日までの間に、この通報は病院紹介でありましたが、1件の使用がありました。

以上でございます。

議長（南 良 徳君） ほかにございませんか。

高道議員。

議員（高 道 一 郎君） 議長にお尋ねしますけれども、質問回数は5回までということですか。1回につき何問できるんですかね。

議長（南 良 徳君） 5項目。

議員（高 道 一 郎君） 5項目まで。はい、分かりました。

それでは、順次お尋ねします。

1回目としてお聞きしたいのは、この決算書の特徴として、歳入歳出の差引額は毎年ゼロになるようにということでの決算とお伺いしました。その理由をちょっと教えていただけたらということが1点目。

2点目は、約40億の総事業費のうち37億余りが各市町の負担金ということなんですけれども、以前、例えば国から消防行政についての補助金というのはあるのかとお聞きすると、ないというお返事でしたが、これはいわゆる交付税としては各自治体に下りてきていると思ひまして、その財源を基に負担金を負担いただいているということかなと思うんですが、それでいいのかということと。

1回目の最後に、その交付税措置されている金額と、実際に3市3町が負担している37億3,000万との開きというか差が、大体交付税というのは低めに算定されるというように聞いていますので、その差額は幾らぐらい、全体としたらなるのか、もし分かりましたら教えてください。

議長（南 良 徳君） 森本管理課長。

管理課長（森 本 弘 昭君） 議員のご質問にお答えいたします。

まず、繰越しがゼロという件でございますが、これにつきましては関係市町との取決めによりまして、100万円を超える歳計剰余金につきましては各市町様へお返しすると、なお、お返しする際にも負担割合に応じた金額でお返ししているものでございます。

次に、交付税の話でございますが、組合としましては起債等組んでおるわけですが、広域後5年間は緊急防災という有利な起債も適用しております。交付税措置70%ということなんです。この交付税につきましては、各市町様に入っておりますので、実際問題、正確な金額につきましては、組合としては把握していないのが現状でございます。

以上です。

議長（南 良 徳君） 高道議員。

議員（高 道 一 郎君） はい、分かりました。

そしたら、ゼロになるということは、負担金は最終年度末に調整して返すということの措置でゼロになるという理解かと思えます。

2点目は要望ですけれども、組合としてもこの3市3町の実の負担額と、それぞれの市町で負担している交付税額というのはやっぱり把握はしてほしいと思うんですね。当然首長さんも参加する組合議会ですから、そういうことは議論されていると思うんですけども、どれぐらいの実際を持ち出しになるのかというようなこともぜひ分かれば、こういった決算のときなどで説明いただけたらなというように思います。

あと、G20のことが出ましたが、人件費の持ち出しは、引き続きこういうことがあったときには要望していくということでお願いしたいんですが、7,700万の事業費に関わる分のうち、最大かかっているのが会場借上料の5,600万ということなんですけど、地元で警備するというところでいくと、この会場借り上げにこれだけの金額というのはちょっとイメージが湧かないんですね。例えば、サミット会場なりそういうことになるのであれば多額の会場費が要るのかなと思うんですけども、時間外勤務で六百数時間、2,602時間ですか、そういう業務量の増にも関わらず5,600万の借上料というのは一体どこをどういう目的で借り上げるような事業をやったんでしょうか。

以上です。

議長（南 良 徳君）山出谷警備課長。

警備課長（山出谷 浩志君）議員のご質問にお答えいたします。

G20大阪サミットの警戒に当たる会場借り上げにつきましては、泉州南としましては、関西国際空港を守るという観点上、関西国際空港島内に警戒本部、また警戒する消防車両等を配置することになっております。ということで、関西国際空港内に本組合が所有する施設としましては、泉佐野署空港出張所という施設がございます。ここにつきましては、特別警戒本部という位置づけでサミットの空港を守るための人員が約40名ほど入っております。これにつきましては、経費はかかっておらないんですが、それ以外に、各国の要人を守るということで消防車両を各他府県からの応援をいただきまして配置しています。ただ、そこには1日当たり170名の人員と約40台の消防車両を駐機する必要がございます。ということで、その施設を借り上げるのに関西国際空港を運営する関西エアポートというところの施設を借り上げてまして警戒に当たったということです。

金額的につきましては、まず24日から30日までの警戒期間ではあるものの、実際に事前の準備等がありますので、その前からの建物及び空地等の借り上げ、また、その借り上げた施設の中に備品等のレンタル品の借り上げ等々がございます。この金額になっておるのが内訳となっております。

以上でございます。

議長（南 良 徳君）高道議員。

議員（高 道 一 郎君）はい、分かりました。

もちろん、この費用は全部大阪府が負担している金額やということなんですけれども、ぱっと見た数字上だけでいくと、実際の期間としたり1週間ほどですけれども、前後も借りていたということの理解としても、一日当たりですと大きな金額やなというのが印象です。

このG20に関わって、その内訳を見ますと、医薬材料費に440万とか、備品購入費、消防機材費に1,300万ということなんですけど、これのこういったものなのかということと、これ警備

終わった後の処理は、この組合の財産として引き続き活用できたりしたのか、全て大阪府の財源ですから、大阪府にお戻ししたのか、そのあたりはいかがでしょうか。

議長（南 良 徳君）山出谷警備課長。

警備課長（山出谷 浩志君）お答えいたします。

医薬材料費あるいは備品購入費でどのようなものを購入したかということに、まず1点目お答えいたします。

今回のG20大阪サミットにつきましては、特にNBC災害といたしまして、テロ等の災害で大規模な、また大多数な負傷者が出ることを想定いたしまして警戒に当たっております。ということで、このサミットにつきましては、この期間中も含めまして、内陸の消防力は減じることなく別としましてサミット警戒に当たっております。ということで、各救急隊また応援に来ていただける救急隊等の資機材をそろえるという意味で医薬材料費は使用しております。

また、備品購入費につきましては、先ほど申しましたテロ等の対策のために、防護服とか薬物を検知する検知管とか、そういうNBCのテロ対策の資機材を購入しております。

2点目につきまして、その後の資機材について泉州南の財産になるかというご質問ですけれども、サミット終了後、泉州南で購入しました備品、消耗品等で使用できるものは財産といえますか、泉州南のほうで使用しているところでございます。

以上です。

議長（南 良 徳君）高道議員。

議員（高 道 一 郎君）はい、よく分かりました。

あと最後の回にしたいと思うんですけども、歳出の公債費がもちろん事業債の元利の返済ということで出ているんですが、この決算書には組合債残高というのが記載されていないように思うんですが、これはなぜでしょうか。

議長（南 良 徳君）森本管理課長。

管理課長（森 本 弘 昭君）ただいまの議員のご質問にお答えします。

残高につきましては、決算審査意見書別冊になりますが、その8ページをご覧いただきたいと思えます。

その中に、年度末未償還額という額が記載されておりますので、この額となります。

以上です。

議長（南 良 徳君）高道議員。

議員（高 道 一 郎君）その意見書というのがちょっと私よう探さんのが1点と。

その場合でも決算書本体に記載がないというのは通常はおかしいのではないですか。

もうこれが最後ですし、記載すべきやと私どもは思うんですけども、その方向で検討いただけたらという要望も併せて質問させていただきます。

議長（南 良 徳君）田中総務部長。

総務部長（田 中 豊 稔君）議員の質問にお答えします。

この決算書につきましては、3市3町の決算書等を参考に作らせていただいているところでございます。

議員からのご意見もいただきましたので、また検討させていただき、そのようにできればと思っておりますが、ちょっと検討させていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

議長（南 良 徳君）答弁漏れがあるようです。意見書としてはどこにあるかという質問で

すが。

峯理事。

理事（峯 和 弘君）監査委員からの報告によります意見書についてご答弁申し上げます。

議会資料といたしまして、監査委員からの意見書を配付しております。ページでいきますと8ページの下の表が起債の残高の表となっております。

以上でございます。

議長（南 良 徳君）ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（南 良 徳君）ないようでございますので、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（南 良 徳君）ないようでございますので、これをもって討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

認定第1号 令和元年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について、決算の認定を可とすることに賛成の方は挙手願います。

（挙 手 全 員）

議長（南 良 徳君）挙手全員であります。

よって、認定第1号 令和元年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定については、認定を可とすることに決定いたしました。

議長（南 良 徳君）ただいまをもって、令和2年泉州南消防組合議会第2回定例会を閉会いたします。

どうもお疲れさまでございました。

閉会（午前10時35分）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 南 良 徳

3 番 議 員 小 川 雄 司

13 番 議 員 二 神 勝